

# ネーミングライツ事業

本学のネーミングライツ・パートナーの一覧はこちら▶



本学では、企業等が本学の施設等に愛称を設定することで当該施設等の知名度向上を図るとともに企業等との連携機会拡大の端緒とすることを目的に「ネーミングライツ事業制度」を2021年度に導入しました。2025年9月末現在で、8社の企業にネーミングライツ・パートナーとなっていていただき、10件のネーミングライツ事業契約を締結しています。本学が所有する施設・教室の名称に、法人名、商標名、ロゴ、シンボルマーク、愛称等を付与することができる「ネーミングライツ・パートナー」を募集しています。



# 共同研究講座・部門

イノベーション社会連携推進機構▶



共同研究講座・部門は、民間企業等から資金と人材を受入れ、大学内の研究組織として共同研究講座・部門を設置することで、民間企業等との長期的な共同研究拠点を構築し、教育研究の進展および充実を図るとともに、我が国のイノベーション創出に貢献することを目的としています。

## 企業のメリット

教員としてキャンパス内に研究拠点を設け、学内リソースを活用し、企業の方針・計画・機密性を確保した研究運営が可能

- より密で迅速な技術調達を図り、ニーズに対応することができる
- 教員の知見に迅速にアクセス
- 学内設備や学術データベース、図書館を利用できる
- 研究支援（大学事務やコーディネータ等）を利用できる
- 大学組織として外部資金の獲得が可能
- リクルートにつながる学生へのアクセス
- 講座に企業名or製品名を冠することができ、PR効果が期待できる
- 社員教育を目的とした利用

## 地理的事情から連携を躊躇していた企業のニーズを充足

- 東京、大阪から日帰り出張ベースの連携も可能であるが、移動時間、交通費を考慮すれば、かなりリーズナブル
- 更に遠方に位置する地域の企業も本学と密な連携が可能

